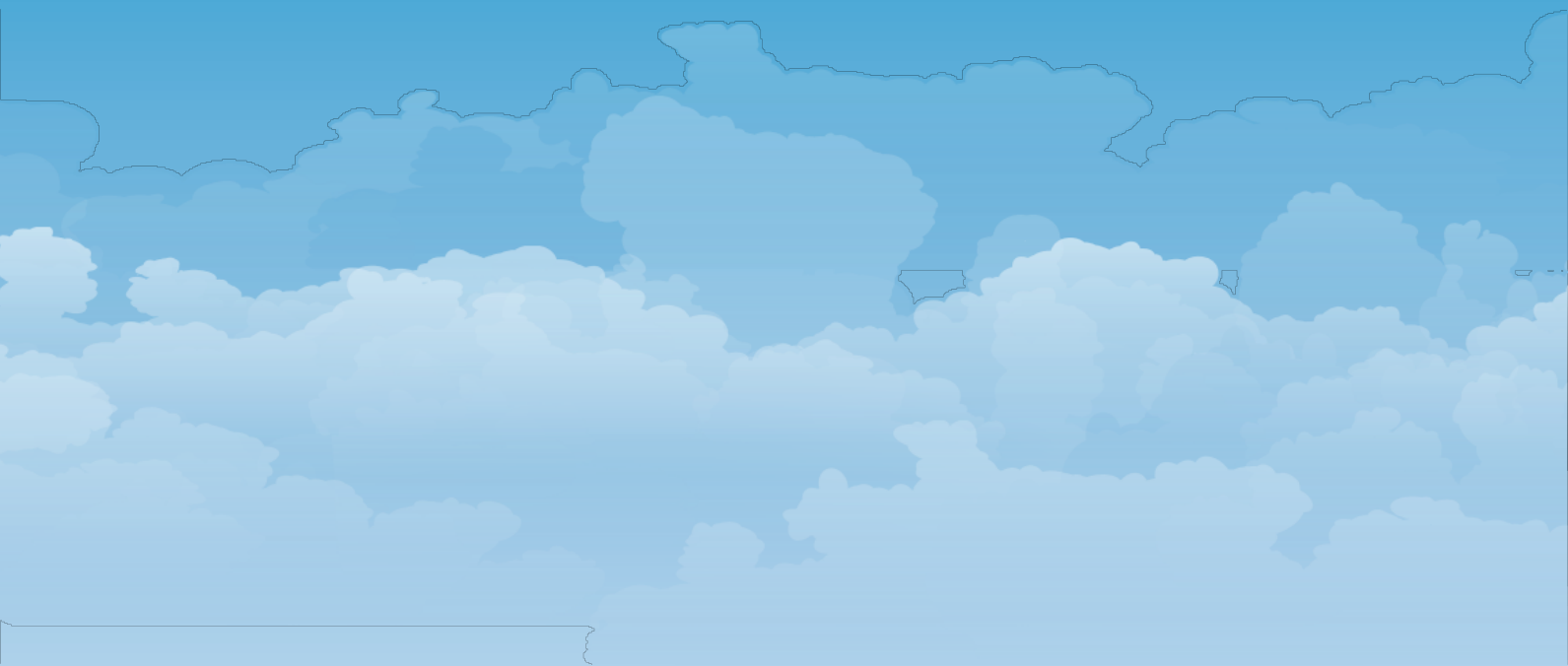


豊橋市中心市街地活性化基本計画 2021-2025

| 概 | 要 | 版 |



豊橋市中心市街地活性化基本計画 2021-2025

8 働きがいも
経済成長も


11 住み続けられる
まちづくりを


17 パートナーシップで
目標を達成しよう

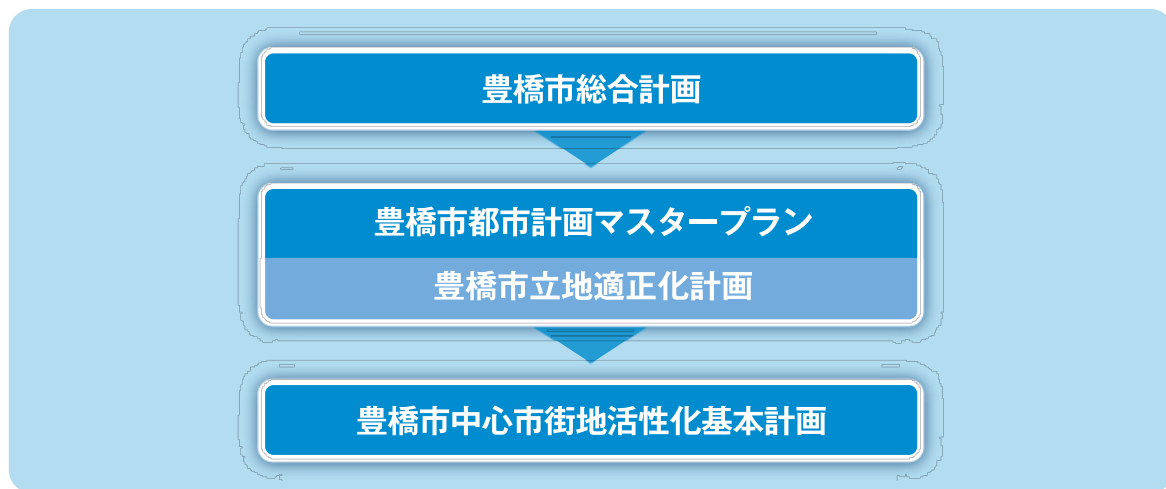

計画策定の趣旨

本市では、東三河の中心都市にふさわしい中心市街地を目指して、「豊橋市中心市街地活性化基本計画 2021-2025」(以下、本計画という)を2021(令和3)年3月に策定しました。本計画は、第1期・第2期の豊橋市中心市街地活性化基本計画(以下、第1期計画、第2期計画という)を継承し、豊橋駅を核とした本市の中心市街地について、中長期的なまちづくりの一貫性を確保しつつ、現状に即した中心市街地活性化を進めるための具体的な方針等を示しています。

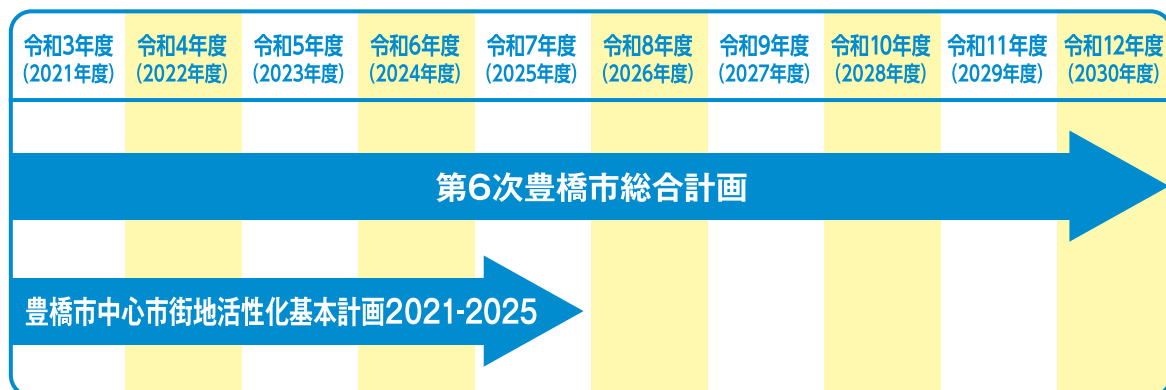
計画の位置づけと計画期間

本計画と本市の上位計画との関係は以下の通りです

位置
づけ



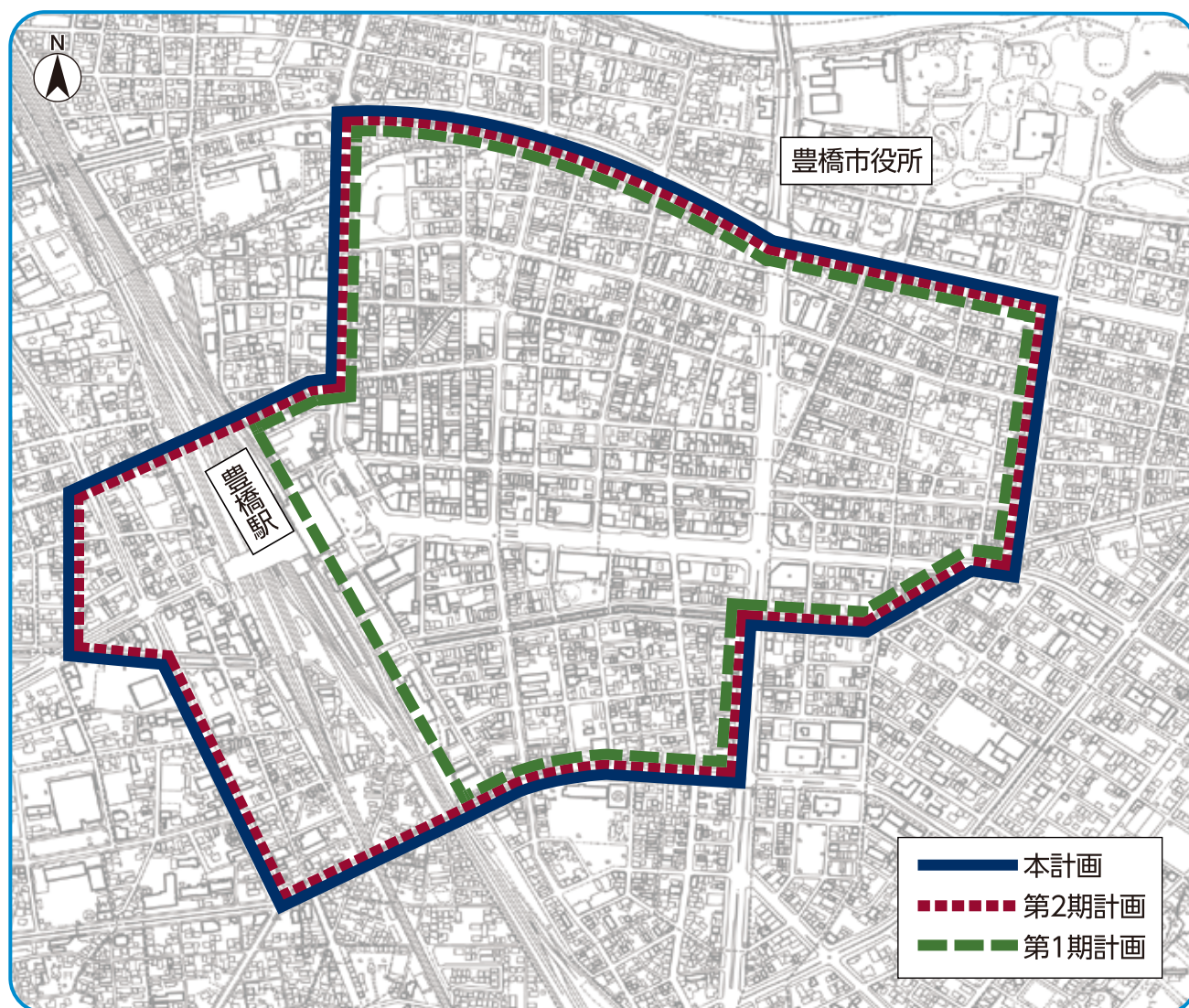
計画
期間



計画区域

これまでの計画の成果を持続させながら地理的利便性を活かし、国や県、中心市街地で活躍する様々な市民・事業者・大学などと連携を深めながら、さらなる都市機能集積とにぎわいの創出に取り組むため、第2期計画と同様の下図に示す約125haを本計画の区域とします。

■本計画の区域 約125ha



中心市街地の現況

本市の中心市街地は、戦災復興土地区画整理事業をきっかけに市街地として必要な基盤はおおむね整備され、行政や商業等の様々な機能が集積し、東三河全体の経済・産業の発展や市民生活の向上に寄与してきました。

豊橋駅周辺には商店街が形成され、行政施設や文化施設、福祉施設など市民生活を支える都市機能も集積していますが、近年、大型商業施設の撤退・閉店等により、まちの求心力低下が懸念される中、新型コロナウイルス感染症の流行も、中心市街地のにぎわいに大きな影響を与えています。

一方、中心市街地の都市機能の向上を図るため、土地区画整理事業や優良建築物等整備事業などを完了させたほか、「こども未来館(ここにこ)」や「穂の国とよはし芸術劇場(プラット)」が開館し、今後は「まちなか図書館」や「まちなか広場」とあわせて拠点を結び通りも整備が行われるなど、中心市街地のにぎわいや回遊性の向上を図るための取り組みを行っています。

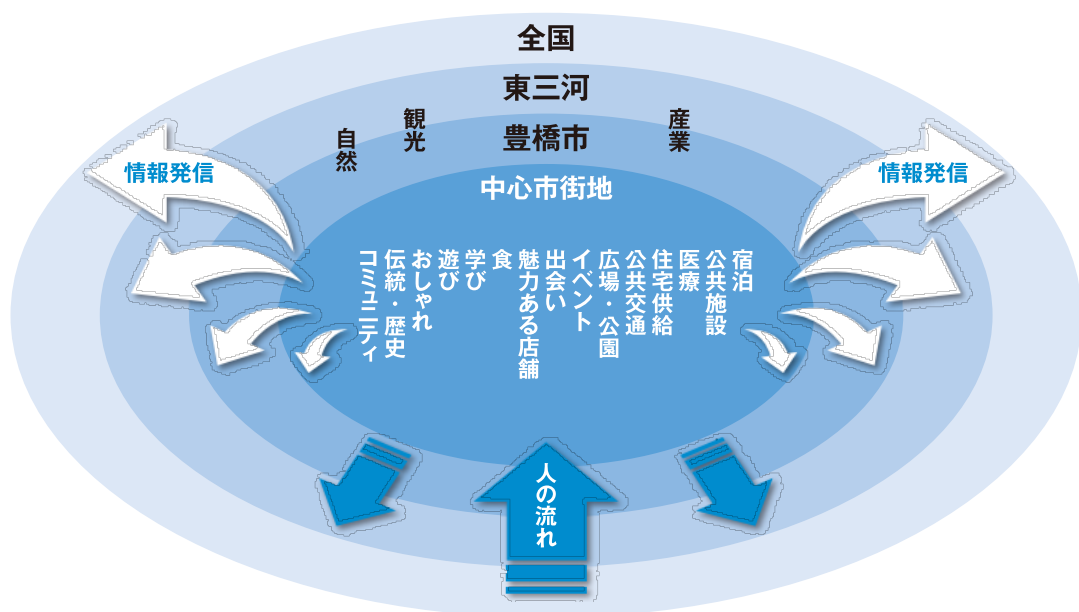
中心市街地の目指す姿の実現に向けて

本市の中心市街地をさらに活性化させるためには、東三河の玄関口にふさわしい魅力を創り、または発見し、それらを発信すること、豊橋駅前という拠点の利便性の高さを活かしていくこと、市民が中心市街地に親しみを持てる機会を創出していくことが重要です。また、豊橋駅や公共交通、駐車場等の都市基盤の利便性を確保し、中心市街地において都市機能の集積や居住誘導を促進させることで、集約型都市構造の実現に向けたまちづくりにおける重要拠点の役割を果たしていくことが求められています。

そこで、豊橋駅を核としてさらに商業・業務・サービス機能を集積させ、その周辺では、都心居住者や市民の生活を支える生活商業機能を配置して都心居住を促進していきます。同時に中心市街地のにぎわいの拠点と、それらをつなげる「通り(軸)」を、居心地が良く歩きたくなる空間になるよう、官民連携により積極的に進めていきます。

これらの施策を選択と集中により効果的に展開するとともに、中心市街地を訪れる機会をさらに提供するほか、この中心市街地を舞台に活躍する商業者や諸団体等、様々な人々が関わりを深め、これからの時代にふさわしい中心市街地づくりを進めていきます。

また、新型コロナウイルス感染症の影響による価値観や暮らしの変化を機敏に捉え、感染リスクの軽減と経済活動のバランスを保ちながら、サテライトオフィスの設置など、企業の新しい働き方に合わせた事業展開をしていくことも必要となります。



基本の方針

(1) にぎわいの交流空間を形成するまちづくりの推進

さらなる民間投資の促進を図ることで、一層魅力的な店舗等を集積させるなど、新たな魅力拠点の形成により中心市街地全体の価値を高めます。

また、今後はイベントや商業で中心市街地へ人を「集める」だけでなく、日常的に中心市街地を歩いて楽しんだり、人と人が交流したり、誰もが思い思いにふるまい「過ごす」ことのできる空間を創り、多様な体験ができることに価値を見出し、中心市街地の魅力をさらに高め、その魅力に触れられる機会を提供することなど、再来街を促す仕組みづくり、関係人口の増加に取り組みます。

このようなまちづくりの推進において、中心市街地で自発的に活動する住民・事業者・民間団体や学生との積極的な連携を図ります。

(2) 回遊したくなる魅力づくりの推進

居心地が良く歩きたくなる「ウォーカブルなまちなか」の形成に向け、「こども未来館(ここにこ)」や「穂の国とよはし芸術劇場(プラット)」、新たに整備される「まちなか図書館」や「まちなか広場」などの拠点と、各拠点を結ぶ通りを歩きやすく魅力的な空間に整備するとともに空間活用を促進していくことで、来街者の回遊性向上につながる仕組みづくりに取り組みます。

さらに、鉄道、路面電車、バス、タクシーなどの公共交通の利用の促進にあわせ、徒歩、自転車のほか自家用車での来街の利便性にも配慮し、回遊したくなる魅力づくりを進めます。

(3) 快適に暮らせるまちづくりの推進

多様な世代やライフスタイルに応じた住宅供給がなされるよう、再開発事業など民間投資の促進に取り組みます。

また、生活者が安心してまちに出かけ、まちを楽しめるよう、生活に密着した商業の配置や、緑及び景観に配慮したまちなみの形成など生活基盤の充実に努めます。

さらに、コミュニティの形成を促進するとともに、すべての人にやさしく快適で潤いのある暮らしの実現に努め、快適に暮らせるまちづくりを推進していきます。

基本の方針ごとの目標と指標

基本の方針	にぎわいの交流空間を形成するまちづくりの推進	回遊したくなる魅力づくりの推進		快適に暮らせるまちづくりの推進
目標	① にぎわいの創出	② 商業・サービス業の活性化	③ 来街者の回遊性の向上	④ まちなか居住の促進
指標	公共空間の年間稼働率	空き店舗数	休日歩行者通行量	中心市街地の人口
基準値 2019年度 (令和元年度)	32%	78店	57,639人/日	9,701人
目標値 2025年度 (令和7年度)	44%	66店	63,000人/日	10,500人

目標

1

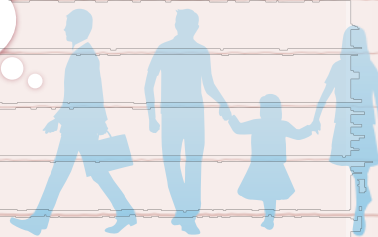
にぎわいの創出

多くの魅力的な施設・店舗や空間を目的に市内外から多くの方が訪れ、豊橋駅からまちなかに向かう人の流れを生み出し、様々なイベントや、市民が主体となって作る日常的なにぎわいにより、生活に密着した「暮らす、過ごす、楽しむ」空間が創出されるまちなかを目指します。

今日は、ハレの日。
「まち」へ出かけて
家族みんなで食事をしよう。
ほら、お洒落して出かけるよ!

明日は、久しぶりに予定がない。
豊橋に出かければ何かやってるかな。
のんびりまち歩きしてみようか。

来週は、愛知へ出張。
仕事が終われば、
同僚と豊橋名物と美味しいお酒。
せっかくなら泊まって楽しもう。



目標：公共空間の年間稼働率 44%

主な取組

- 民間再開発の促進による老朽街区の一体的な再整備
- 周辺施設、商店街等と連携したイベントの開催
- 公共空間の利活用促進 etc.

目標

2

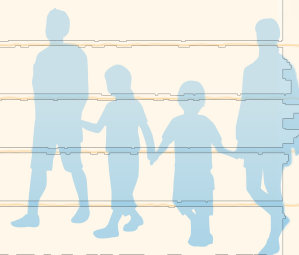
商業・サービス業の活性化

まちを歩く人が足を止めて入りやすい雰囲気の魅力的な店舗が増え、人が集まることで新たな交流が生まれ、さらなる人の流れも期待でき、就労機会の創出にもつながる活気にあふれるまちなかを目指します。

老舗のあの味、
また食べに行かない？
SNSで写真を見たらどうしても
食べなくなっちゃった。

あれ、あそこに
新しいお店ができてる！
帰りに寄ってみようかな。

お店の中もいいけど、
外でごはんを食べるのも気持ちがいい。
オープンカフェなんてちょっと海外気分。



目標：空き店舗数 66店

主な取組

- 民間事業者、周辺施設、商店街等と連携した来街を促すイベントや販促キャンペーンの開催
- 魅力的なまちなかのイベントや場所、個店等の積極的な情報発信
- リノベーションまちづくりなどのストック活用によるまちづくり etc.

目標
3

来街者の回遊性の向上

来街者が行きたくなる場所がいくつもあり、目的地以外にも足を運びたくなる魅力あふれる拠点と、それらをつなぐ通りでは人々が思い思いに過ごすことができる、居心地が良く歩きたくなるまちなかを目指します。

豊橋には、
こんなにも歴史的な
場所があるって知ってる？
今度歩いて回ってみようよ。

まちなかに来ると、一日遊べるね。
本を返したら、ご飯を食べて、
買い物しよう。

舞台を見に来たあと、
少し歩いたら楽しそうなイベントが。
ついつい長居して、もうこんな時間!



目標：休日歩行者通行量
63,000人/日

主な取組

- 公共施設や商業施設などの拠点を結ぶ歩きやすく魅力的な通りの整備
- 居心地が良く歩きたくなる(ウォーカブルな)まちなかの形成
- まちなかにアクセスしやすい自転車や公共交通の利用環境の向上 etc.

目標
4

まちなか居住の促進

駅に近い利便性を活かした多様な世代やライフスタイルにあわせた住宅供給の促進と、ゆとりある日常を感じることでできる緑や景観に配慮した環境の整備をすることにより、安全・安心に暮らし、働き、楽しむことができるまちなかを目指します。

買い物も食事も
職場へのアクセスも欲張ったけど、
こども向けの施設やイベントも
充実していて大満足。

新しい暮らしを
まちなかで始めて、
友人もできた。
趣味の活動にも
力が入る。

テレワークも定着したし、
月2で新幹線通勤。
ゆったり暮らせるって贅沢なんだな。



目標：中心市街地の人口
10,500人

主な取組

- 民間事業者による良好な住環境の整備の促進
- 歩いて暮らせるまち区域内への定住促進
- 安心、安全に暮らせるまちづくりの推進 etc.



豊橋市

豊橋市中心市街地活性化基本計画2021-2025 概要版

策定：令和3年3月

○発行 豊橋市

○編集 豊橋市都市計画部まちなか活性課

〒440-0897 愛知県豊橋市松葉町二丁目10番地

☎ 0532-55-8101 ☎ 0532-55-8100

✉ machinaka@city.toyohashi.lg.jp



○この冊子は、カラーユニバーサルデザインに対応しています。 ○この冊子は、再生紙を使用しています。

